

日本

医

療

大

学

2025

デリバリークラス



2025

デリバリークラス 目次

◇ 医療全般	02ページ
◇ 看護学科	03ページ
◇ リハビリテーション学科 理学療法学専攻	07ページ
◇ リハビリテーション学科 作業療法学専攻	10ページ
◇ 診療放射線学科	13ページ
◇ 臨床検査学科	14ページ
◇ 臨床工学科	16ページ
◇ 医療DXマネジメント学科	17ページ
◇ 共生社会デザイン学科	18ページ



申込番号 01	医療全般	柿澤 雅史
理学療法士と作業療法士の違い		
リハビリテーション医療に関わる2つの職種の違いについて、簡単な体験をしながら理解します。		

申込番号 02	医療全般	品川 雅明
病院内で仕事している医療専門職とその役割		
病院内で仕事している医療専門職の種類とそれぞれの役割や連携などを解説します。		

申込番号 03	医療全般	岸上 博俊
医療系大学生に求められる基礎科目		
医療系といっても幅が広いです。当然求められる知識、技術にも違いがあります。例えば看護やリハビリテーションは、対人業務になりますし、放射線、検査、工学は、機器を扱う業務になります。それぞれで求められる基礎教育科目には大きな違いが存在します。それらをお伝えするとともに、就職状況や国家試験状況も含めお知らせいたします。		

申込番号 04	医療全般	岸上 博俊
医療系を学ぶのは大学？専門学校？		
医療系を学ぶには専門学校と大学と大きく二つの選択肢が存在します。それぞれで利点と欠点が存在します。それらの内容を理解して進路を決めていただきたいと思います。我々大学は専門性を追求していくことに最大の利点が存在していると思っています。		

申込番号 05	医療全般	工藤 元嗣
病院でのお仕事 -医療専門職の種類と役割-		
現在、医療施設で活躍する職種は、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、作業療法士など多岐にわたります。それぞれの職種の「お仕事内容」や「それぞれのやりがい」などについて、現場のスタッフの生の意見を基にわかりやすく解説します。		

申込番号 06	医療全般	磯辺 正道
患者中心の多職種連携とコミュニケーション		
臨床検査の視点から患者(家族)・医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士等が連携し、より良い検査・診断・治療に繋げるには患者を中心に職域を超えたコミュニケーションが必要となります。事例にて楽しく一緒に学び合いましょう。		

申込番号 07	看護学科	河原畑 尚美
災害看護について		
災害はいつ起こるかわかりません。一人ひとりが災害に備えておく必要があります。災害時における看護師の役割や全国の大学生で組織する災害支援チームについても紹介します。		

申込番号 08	看護学科	河原畑 尚美
大学で看護を学ぶということ		
看護職を目指す道はさまざまありますが、大学で看護を学ぶことの意味を大学の授業や実習、研究の内容、また卒業後の進路などを交え、わかりやすくお話しします。		

申込番号 09	看護学科	澤田 優美
いのちの誕生を支える看護職		
妊娠出産、いのちの誕生をささえる看護職のお仕事について、わかりやすくお話しします		

申込番号 10	看護学科	澤田 優美
親になること		
親になるってどんなことだろう。人を育てるってどんなことかな？一緒に考えてみませんか？		

申込番号 11	看護学科	進藤 ゆかり
訪問看護師の歴史(ルーツ)を知ろう！		
超高齢社会である日本では、「病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最後を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。看護師のお仕事は病院や施設内に限定されることはありません。地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まですべての年代の方に、関係職種と協力し合って、一人ひとりに必要な支援が行えるのが、訪問看護です。白衣を脱いで、地域で幅広く活躍する訪問看護師の発展の歴史やルーツ、その醍醐味を、皆さんと一緒に共有できたらと思います。		

申込番号 12	看護学科	進藤 ゆかり
あなたのお家は大丈夫？住環境アセスメント		
住まい・生活環境とは、人が人らしい生活を営むために必要な「機能」と「地域環境」を併せ持つ空間です。地域・在宅看護では、そこに住む人の思いや暮らしぶりを理解したうえで、療養者の価値観を大切にしながら支援していくことが必要です。みなさんの住まいの安全性や問題点に気づき、事故や災害、療養に適した健康的な住環境を整えるための視点について、考えてみましょう！		

申込番号 13	看護学科	溝部 佳代
聴診器からどんな音が聞こえるの？		
医師の診察で用いられる聴診器。看護師も毎日使用し、健康状態の変化を捉えます。聴診器の仕組み、聴診器をあててどこどのような音を聞いているのか、聞こえた音から何がわかるのかを解説します。実際に音を聞き比べ、体のサインを一緒に考えてみましょう。		

申込番号 14	看護学科	山崎 公美子
看護の教育の歴史		
看護師の教育がいつから、どのように行われてきたかを、近代から現代へと時代を追いながら、イラストや写真を紹介しながらお話します。		

申込番号 15	看護学科	鶴木 恭子
マッサージって、看護なの？		
私はこれまで約10年間にわたり600例以上の患者さんにマッサージの技術を提供してきました。医療の現場では、マッサージはどのような効果をもたらすのでしょうか。看護学生の学内でのマッサージの演習体験の結果も含め興味深い結果をご紹介します。		

申込番号 16	看護学科	鏡山 浩美
良く眠ることが大切な理由		
すべての動物は睡眠をとらなければ生きていくことができません。睡眠不足は肥満、糖尿病、免疫力や記憶力の低下など、様々な健康への影響をもたらすことが最近の研究によりわかってきました。今日から実践できる良い睡眠の取り方について、一緒に考えてみましょう。		

申込番号 17	看護学科	柏倉 大作
食行動と食生活		
毎日の食事は、健康を維持するためにとっても大切です。体に良い食べ物はわかってきても、美味しく健康的な食事を毎回準備するのはとても大変です。そこで注目したいのは「食行動」です。食行動は、食べるまでの意思決定や行動、習慣のことで、例えば、自炊なのか、外食なのか、といったことです。健康的な食生活につながる食行動について、一緒に考えてみましょう。		

申込番号 18	看護学科	合田 恵理香
救急・ICUナースのお仕事		
ケガや病気で命の危機にある患者さんを救うために、また、そのような患者さんの家族のために、看護師はどんなことをしているのでしょうか。救急・ICUナースのお仕事について、お話します。		

申込番号 19	看護学科	中澤 洋子
糖尿病の基礎知識		
生活習慣病である糖尿病を、成人期にある人の特徴から、疫学、病態、治療（食事療法・薬物療法）とその看護について説明をします。最後に講義の復習として、糖尿病クイズをします。		

申込番号 20	看護学科	原田 圭子
看護大学で学ぶことって？		
看護大学ではどんなことを学ぶのかな？自分にもできるかな？などの疑問に答えられるようなお話をします。ご希望の内容があれば事前にお伺いいたします。		

申込番号 21	看護学科	福田 早織
大学で学び看護師になるということ～看護の魅力とは？		
看護師になるためになぜ大学で学ぶのか、看護専門学校との違いやキャリアアップの道が開ける大学での学び（講義や臨地実習）、学生生活についてお話します。「看護ってなんだろう？」「自分にできるかな？」という疑問にお答えできるように、手術室看護師の経験を通して看護の魅力をお伝えします。		

申込番号 22	看護学科	松村 寛子
地域で働く看護職		
みなさんの周りにはたくさんの看護職が働いています。病院で病気になったときに接することの多い看護師の仕事だけではなく、地域の多様な場で看護職が働いていることをご紹介します。乳幼児の頃の乳幼児健診、学校に行くようになってからの健康管理、社会人になり労働者になってからの健康管理など、健康な人を対象にした看護が行われています。皆さんのまわりの看護について一緒に考えてみましょう。		

申込番号 23	看護学科	柏民 圭太
高齢者とのコミュニケーション		
高齢化社会において、世代を超えたコミュニケーションはますます重要になっています。この講義では、高齢者との効果的なコミュニケーションについて学び、世代を超えた相互理解と豊かな関係づくりのヒントをお伝えします。		

申込番号 24	看護学科	佐藤 予右子
認知症の人の気持ちを考えてみよう		
『認知症』とはどのような状態なのか、『認知症』の人はどのような気持ちでいるのかを知り、安心・安全に、そして人間らしく暮らせる社会の実現のために皆さんができることを一緒に考えてみましょう。		

申込番号 25	看護学科	鈴木 捷允
健康の自己管理～受診行動の観点から～		
皆さんは、体調悪いけれども病院にいくのを面倒に思ったことはありませんか？ それなのに、辛くて受診して医師に診てもらったらすぐに元気になって、その時「もっと早く病院に行けばよかったな」と思ったことはありませんか？ 最初にどうして面倒に思ったのか、なぜ行こうと思ったのか、一緒に考えてみましょう。		

申込番号 26	看護学科	田川 史穂里
手術室の看護師とは？		
手術室看護師のイメージは、テレビドラマで見かけるような「メス」や「クーパー（はさみ）」等を医師に渡し、医師の汗を拭く。そんなイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、それだけではありません。患者さんが安全に安心して手術を終えられるように、手術の前から手術室の看護は始まっています。あまり知られていない手術室看護師の看護をお話します。		

申込番号 27	看護学科	中村 江衣
看護師のキャリアアップ。「専門看護師」「認定看護師」って何だろう？！		
看護師がキャリアアップを希望する職種として、「専門看護師」「認定看護師」という職業があります。専門性の高い知識を活かし、医師、薬剤師、栄養士、介護士などの他職種と連携しながらチーム医療を行ったり、患者さんだけでなく、家族や地域といった幅広い視点でサポートを担います。看護のスペシャリストとして知られる専門看護師・認定看護師について、働き方や役割などを詳しくお話します。		

申込番号 28	看護学科	難波 亨
看護師の生活ってどんなの？		
看護師のお仕事や日常生活について興味はありますか？看護師のイメージはあるけど、病院でどんなことをしているのか、仕事と休みのスケジュールはどうなっているのか、夜勤の前は何をしているのか等、医療関係者が近くにいない限り、具体的にわからないという方が多いかもしれません。私は看護師として、大学病院で働いてきました。その経験から仕事内容や日常生活について細かいところをお話したいと考えています。		

申込番号 29	看護学科	春名 美恵
病気や障がいとともに生きる人々を理解しようー街にある多機能トイレにクローズアップ！		
多機能トイレにはどのような設備が備わっているか知っていますか？多機能トイレの設備や工夫、オストメイトのケアについて学び、病気や障がいとともに生きる方々の理解を深めましょう。		

申込番号 30	看護学科	本間 公
君たちはどう生き(てい)るか～身体状態を知るためのバイタルサインとは～		
皆さんは朝起きて、学校に行って勉強・部活をして、家に帰って勉強して寝る…ということを「当たり前」のこととして繰り返していると思います。しかし、その「当たり前」が身体の状態によって出来ず困っている方がおり、看護師はそんな方々の援助や治療の役をになっています。その中から、基本となる「身体の状態を知るための看護師の役割」を「バイタルサイン」という医療用語を用いて、例を示しながら知る奥深さをお話します。		

申込番号 31	理学療法学専攻	向井 康詞
身体の仕組みについての簡単な疑問		
骨折すると骨は太くなる？治療のために体の中に金属を入れても安全なの？など医療に対する疑問にわかりやすく答えます。		

申込番号 32	理学療法学専攻	向井 康詞
スポーツ障害とテーピング		
部活動などでよくみられるスポーツ障害を理解して、テーピングを体験します。		

申込番号 33	理学療法学専攻	西山 徹
切断者に対する理学療法		
近年、パラリンピックなどで注目されることの多くなった「下肢切断者」に対する理学療法を講義し、最新の義足等を紹介します。また、模擬的な義足を用いて、義足での歩行を実際に体験してもらいます。		

申込番号 34	理学療法学専攻	矢口 智恵
ヒトはなぜ立てるのか？		
私たちは、普段何気なく立つことができます。この姿勢は、脳からの命令による、筋肉の微妙な調節によって保たれています。立つときの筋の微調整について、模型を使って説明したり、実際に筋肉を触ったりして、理解を深める講義を行います。		

申込番号 35	理学療法学専攻	泉水 朝貴
体を支える骨のはなし		
ヒトの骨の数とその働き、折れた骨の治癒過程と治療、骨折の予防策や骨折後のリハビリテーションについて説明します。		

申込番号 36	理学療法学専攻	近藤 和夫
有酸素運動と無酸素運動		
「有酸素運動」「無酸素運動」という言葉を聞いたことがありますか？運動は強度と時間によって、身体に及ぼす影響は異なり、得られる効果も変わってきます。目的にあった運動とは、どのようなものか考えてみたいと思います。		

申込番号 37	理学療法学専攻	松崎 由里子
病院だけじゃない？理学療法士の活動の場		
理学療法士はスポーツでけがをした人にリハビリをしていることはよく知られていますが、理学療法士が活動する場は、病院や施設の中だけでしょうか？あまり知られていないかもしれない、理学療法士の活動の場を医療と保健福祉に分けて紹介します。地域に住まわれている高齢者の方と行う活動や災害の場面において行う活動、国際的なかわりにも理学療法士は参画しています。細かい内容はご希望を伺い調整いたします。		
申込番号 38	理学療法学専攻	小林 英司
えっ、そうなの？認知症		
現在の医学では認知症の根本的な治療は難しく、患者数の増加は大きな社会問題となっています。しかし一方で、100歳近い超高齢であっても認知症にならずに暮らしている方も多くいらっしゃいます。この違いは一体どこにあるのでしょうか？この講座では、超高齢であっても認知症を発症しない方々の心身や生活の特徴について、私どもの研究成果も交えながら学びます。この講座を通して、新しい認知症予防のあり方を考えるきっかけにしたいと思います。		
申込番号 39	理学療法学専攻	小林 英司
「もう一度歩きたい！」を叶える 脳卒中後遺症のリハビリテーション		
脳梗塞や脳出血などをまとめて「脳卒中」と呼びます。脳卒中の医学的な治療技術は進歩しており、その死亡率は過去に比較して格段に低下しています。しかし、麻痺や言語障害などの脳卒中による後遺症によって介護が必要となる患者さんは依然多いため、リハビリテーションは重要な治療の一つです。脳卒中のリハビリテーションも過去に比べて大きく進歩しています。この講座では、麻痺などの後遺症のために歩行が難しくなった場合のリハビリテーションの実際を紹介し、解説いたします。		
申込番号 40	理学療法学専攻	新開谷 深
安全で効果的なストレッチ		
運動の前後にストレッチをすることは良くあります。よく行われているストレッチには、実は効果的ではなかったり、安全ではなかったりするものもあります。筋肉がストレッチされるメカニズムと実際のやり方を学びましょう。		
申込番号 41	理学療法学専攻	宮城島 沙織
赤ちゃんの発達と動きの不思議		
赤ちゃんが「寝返り」「はいはい」「立つ」「歩く」までの発達の仕組みを解説し、運動発達の過程を理学療法の視点から考察します。小児理学療法士がどのように子どもの成長をサポートするのかを紹介し、発達の遅れや障がいを持つ子どもへのアプローチについても説明します。		
申込番号 42	理学療法学専攻	坂口 友康
転倒予防		
高齢者は特に転倒しやすく、転倒から骨折等の怪我をしてしまい寝たきりになってしまう場合もあります。怪我についての基礎知識や、転倒しないようにどう環境を整備すれば良いのかなど、今すぐ自宅でできる転倒予防対策をご紹介します。		

申込番号 43	理学療法学専攻	渋川 佳彦
理学療法士も検査をする		
医師は治療をする前に必ず検査を行い、病気を診断します。理学療法士も理学療法を行う前に検査をして、障害を評価します。この講義では理学療法士が行う様々な検査の体験を通し、治療を含めた理学療法評価の流れについて学びます。		

申込番号 44	理学療法学専攻	武田 賢太
神経難病の理学療法		
脊髄小脳変性症やパーキンソン病といった進行性の神経疾患をご存知ですか？体をスムーズに動かすことが難しくなってしまうたり、転倒しやすくなってしまうたりと様々な症状が病期に伴って変化します。転倒予防を中心に、比較的簡単にできる運動をご紹介します。		

申込番号 45	理学療法学専攻	谷口 達也
スポーツによるケガと理学療法		
近年、健康志向が高まり幅広い年齢層でスポーツ人口が増加している。しかし、スポーツ人口の増加に伴い足や膝関節のケガも増加してきている。本講義では注意したい競技とそのケガの予防方法と理学療法について示していきたいと思います。		

申込番号 46	理学療法学専攻	三浦 紗世
予防と理学療法士		
そもそも健康とは？「健康」から「病気」に至らないためにはどのような予防方法があるのか、予防と理学療法士のかかわりについてご紹介します。		

申込番号 47	作業療法学専攻	岸上 博俊
車椅子に乗ってみよう		
車椅子は障害を持っている方には大切な移動補助具になります。また、移動だけではなく日中の多くの時間を車いすで過ごす場合もあります。そんな車いすを実際に体験してみてください。また、より良い車いすを作っていくための実験機材や計測も体験しましょう！		

申込番号 48	作業療法学専攻	岸上 博俊
利き手が使えなくなったら		
利き手が使えなくなると日常生活は大変困ります。食事、書き取りなど多くの事で苦勞します。そんな場合に助けてくれる道具がありますので、実際に体験しながらリハビリテーションを体感してください。		

申込番号 49	作業療法学専攻	及川 直樹
肩・肘・手のケガ予防		
上肢(肩・肘・手)の仕組みをほんの少し知るだけで、スポーツ障害も音楽家の手の障害も怪我も防げる！高校生にも明日から役立つ豆知識を専門家の視点からお話したいと思います。		

申込番号 50	作業療法学専攻	及川 直樹
手の簡易装具(スプリント)を作ろう		
手の怪我や障害に対するリハビリテーション場面で、作業療法士が実際に作成する簡易装具(スプリント)の作成体験を実施します(要人数制限。20名程度)		

申込番号 51	作業療法学専攻	及川 直樹
ロコモティブ・シンドロームを知って 健康寿命を伸ばそう！		
運動器機能(骨・筋肉・神経)の障害によって引き起こされる移動機能の低下を呈する「ロコモティブ・シンドローム」は高齢者だけの問題ではありません。最近是小中学生から高齢者まで幅広い年齢層で問題となってきました。ロコモティブ・シンドロームの予防を学んで健康寿命を伸ばしましょう！(20～30名程度であれば高校の先生に簡単なお手伝いをいただくながら、講義だけではなく演習や簡易計測も可能です。計測結果はその場でフィードバックできます)		

申込番号 52	作業療法学専攻	清本 憲太
心と身体の関係		
リハビリテーションの専門職である作業療法士は「心と身体のリハビリテーション」といわれ、医学や心理学などの学問を元にリハビリテーションを行います。心と身体の密接な関係とリハビリテーションへの応用について演習等を通して解説します。		

申込番号 53	作業療法学専攻	清本 憲太
更年期や高齢期の痛み		
更年期や高齢期を迎えるとヒトには生物学的に様々な変化をもたらし、関節などの痛みにつながる場合があります。身体や心理の変化に伴う、痛みの特徴について演習等を通じて解説します。		

申込番号 54	作業療法学専攻	清本 憲太
作業療法士のしごと—しごとの内容から学校生活、国家試験の傾向まで—		
作業療法士は国家資格であり、医療・保健・福祉の専門家です。作業療法士のしごとや活躍する場、資格取得までの道のりと国家試験の傾向と対策について解説します。		

申込番号 55	作業療法学専攻	合田 央志
人の生活を支える仕事～作業療法ってなに？～		
みなさんは「リハビリ」と聞くと、ケガをした人が運動するイメージがあるかもしれません。でも、リハビリには「その人らしい生活を取り戻す」という大切な目的があります。作業療法(OT)は、病気やケガ、障がいがあっても、自分らしく生活できるように支える仕事です。例えば、事故で手が動かしにくくなった人がもう一度料理できるように練習したり、心の病気で家から出られない人が外に出る自信を持てるようサポートしたりします。AIが発達しても、人の気持ちに寄り添うことは作業療法士にしかできません。リハビリの仕事の魅力を学んでみませんか。		

申込番号 56	作業療法学専攻	村上 正和
脳卒中者に対する作業療法		
日本には脳卒中の方々が約100万人もいると言われており、多くの方がリハビリテーションを必要としています。脳卒中者に対する作業療法の幅は広く、手足のリハビリや生活動作のリハビリ、高次脳機能のリハビリなど、様々なことを行います。その一部を一緒に体験してみませんか？		

申込番号 57	作業療法学専攻	村上 正和
ゲームを使ったりリハビリ		
ゲーム人口が増え、患者さんの中にもゲームがやりたいという方が増えています。片手でゲームをしたり、弱い指の力でゲームをしたり、色々な工夫で患者さんの症状に合わせてコントローラーやゲームの設定を工夫し、楽しむことができます。ぜひ一緒にやってみましょう。		

申込番号 58	作業療法学専攻	村上 優衣
子どもの作業療法		
子どもの作業療法はさまざまな場面で展開されていますが、対象児・者の多くは、家族とともに地域で暮らしています。家族が幸せに生活をし続けるために、作業療法士ができること、考えるポイントについて、一部を紹介します。		

申込番号 59	作業療法学専攻	坂口 紀子
”座ること”を考える		
毎日何気なく行っている“座り”について考えたことがありますか？座りはさまざまな動作の基本となります。病気や加齢が座りや姿勢に与える影響を考えてみませんか。		

申込番号 60	作業療法学専攻	木村 優斗
上肢機能リハビリテーション		
食事、入浴、家事動作など、人の生活の中で手の動きはなくてはならないものとして位置しています。しかし、骨折などの整形外科疾患の受傷、脳卒中などの発症により、手の動きが阻害されてしまう場合、生活が成り立たなくなってしまう。このためリハビリテーションでは手の動きに対する「上肢機能リハビリテーション」を実施します。上肢機能リハビリテーションの考え方や実践について体験をしてみませんか？		

申込番号 61	作業療法学専攻	宝田 光
高次脳機能障害に対するリハビリテーション		
脳卒中後の後遺症には手足の麻痺だけではなく、注意が散漫となったり、道具の使い方や動作の手順が分からなくなったりします。このような病態を“高次脳機能障害”といいます。高次脳機能障害は日常生活に大きな支障をきたすため作業療法の対象となります。高次脳機能障害による影響について一緒に考えてみませんか。		

申込番号 62	診療放射線学科	福山 篤司
医療で利用されている放射線と医療機器		
皆さんが一度は経験したことのある「レントゲン検査(X線検査)」や「CT検査」はX線と呼ばれる放射線を使用しています。東日本大震災時に起きてしまった福島第一原子力発電所の事故によって、「放射線は怖いもの」と位置づけられてしまったかもしれませんが、病気に悩む方の診断と治療には適正に使用され、画像診断では重要な役割を担っています。病院や診療所などの医療施設において、放射線がどのように利用され、扱われているのかを分かりやすく解説します。また、どのような過程で医療機器から放射線が出ているのか、医療施設における診療放射線技師の役割などについても併せてお話し致します。		

申込番号 63	診療放射線学科	島 勝美
さまざまな被ばくと人体への影響		
放射線は身近にあるものです。地球上の生物は太古の昔から、大地、空、水など様々な場所から放射線を被ばくしています。我々は、放射線が普段目に見えず、何も感じないものなので被ばくした事を意識せずに生活しています。そこで、本講義では放射線がどこから発生し、被ばくすると身体はどうなるのかを解説します。さらに、医療で使われる放射線の種類や強さ、用いられる放射線の量を減らす取り組みなどを紹介します		

申込番号 64	診療放射線学科	阿部 匡史
ここまでできる放射線治療		
放射線を利用した診療のひとつに放射線治療があります。放射線治療は体の外側から放射線を照射する方法、放射線を放出する元素を腫瘍内に刺入したり集積させたりして内側から放射線を照射する方法に分けられます。近年、医療技術や医療機器の進歩によって、より正確で安全な放射線治療が可能になってきており、これらの技術を紹介するとともに診療放射線技師の役割について解説します。		

申込番号 65	診療放射線学科	黒藤 邦夫
がん医療における画像検査・画像診断の役割		
我が国では生涯のうち国民の二人に一人が罹ると推測される「がん」に対する対策の一つとして、学校における「がん教育」を推進することが謳われています。この講義ではがん医療、特になんがん予防における画像診断の役割と診療放射線技師のかかわりなど、「がん」についての正しい知識とともに画像検査・画像診断のがん予防における役割と重要性について講義します。		

申込番号 66	診療放射線学科	渡辺 侑也
アルツハイマー型認知症の画像診断と治療薬		
「認知症ってどんな病気？」「脳の中では何が起きている？」そんな疑問に答えながら、診療放射線技師の目線でアルツハイマー型認知症の画像診断と治療の最前線をわかりやすく解説します。早期発見につながる新しい検査「アミロイドPET」、病気の進行を遅らせることが可能な新薬「レカネマブ」の効果と課題、そしてそれらに関わる診療放射線技師の役割についてお話しします。		

申込番号 67	診療放射線学科	小笠原 凌介
高校での勉強は放射線の勉強に役立つの？		
高校では「物理学」や「化学」といった難しい科目を勉強していると思います。勉強していると「この勉強は将来必要なのだろうか？」と感じることも少なくないと思います。今回の講義では、高校で学習する「物理学」と「化学」の内容を使って、放射線の話をしていただきます。		

申込番号 68	臨床検査学科	浅沼 広子
なぜ、治る乳がんと治らない乳がんがあるのか？		
がんの完治は、5年間再発しないことが基準ですが、乳がんは10年後でも再発することがあります。その原因解明と病理(組織・細胞診)検査がどう関わっているか紐解きます。		

申込番号 69	臨床検査学科	梅森 祥央
医療に用いられる化学とは		
高校3年間で学ぶ化学の知識は、医療現場(特に臨床検査)でどのように活用されているのか、具体例を示しわかりやすく解説します。		

申込番号 70	臨床検査学科	徳永 祐一
今から知ってほしい“がん”のこと～細胞検査士の立場から～		
がんの中でも「子宮頸がん」とHPV(ヒトパピローマウイルス)の関係性について、細胞検査士の立場からお話をさせていただきます。		

申込番号 71	臨床検査学科	望月 真希
遺伝子検査を学ぶ		
遺伝子検査と言われて何が浮かぶでしょうか。遺伝子検査のこれまでの歩みとこれから期待されることをご説明します。		

申込番号 72	臨床検査学科	岡田 一範
超音波でみる動脈硬化と心疾患		
「人は血管と共に老いる」ということばがあります。年齢を重ねると動脈硬化が進みますが、生活習慣が悪いと動脈硬化が実年齢以上に進行し、心臓の病気にかかりやすくなります。超音波検査は、赤ちゃんの検査に使えるほどやさしい検査法です。本講義では、動脈硬化や心疾患の評価に超音波検査がどのように活用されているかを解説します。		

申込番号 73	臨床検査学科	魚住 諒
本当にA型は几帳面？～血液型の科学と輸血の関係～		
日本人が大好きな「血液型占い」。これは会話のきっかけとはなりますが、実際には科学的根拠がありません。病院で行われる輸血医療には我々臨床検査技師が深くかかわっています。 ✓ 血液型ってどんなもの？ ✓ 血液型ってどうやって調べるの？ ✓ 輸血ってなに？ ✓ 移植ってどんなこと？身近な話題であって、実はよく知らない血液(型)についてやさしくご紹介します。		

申込番号 74	臨床検査学科	魚住 諒
ワクチンを打つのはなんのため？～感染症予防と免疫メカニズム～		
なにかと話題になるワクチン。特にメディア等では否定的に語られることも少なくありません。 ✓ ワクチンってどんなもの？ ✓ こんなにたくさんあるワクチンの種類 ✓ 新技術！ 核酸ワクチンのここがすごい！～ 新型コロナウイルスワクチンなど、ワクチンと感染症予防、そして免疫メカニズムについてやさしくご紹介します。		
申込番号 75	臨床検査学科	小池 祐史
身近な微生物について		
われわれの周りには様々な微生物が存在します。その中で身近な微生物の一つである善玉菌と悪玉菌について、病院の微生物検査の内容も含めてお話しさせていただきます。		
申込番号 76	臨床検査学科	澁谷 斉
健康診断の尿検査からわかること		
“おしっこ”が生成される過程はどのようなものか？そして、健康診断で提出している尿がどのように検査されているのかを紹介し、さらにその結果をどのように解釈するかをお話させていただきます。		
申込番号 77	臨床検査学科	高橋 裕之
染色体異常は病気か？		
染色体異常は、偶発的に生じることもあれば、環境に起因することもあり、また、放射線などの影響によって生じることもあります。臨床検査から知り得る染色体・遺伝子異常には、どのようなものがあるかを解説します。		
申込番号 78	臨床検査学科	中鉢 雅大
あなたの知らない臨床検査技師の世界		
臨床検査技師って普段何しているの？”検査”と書いてあるくらいだから病院でいろんな検査をしていると考えるでしょう。臨床検査技師の具体的な業務内容と、主に病院内での役割について解説します。		
申込番号 79	臨床検査学科	林 泰弘
糖尿病ってどんな病気？		
糖尿病は成人の3人に1人が関係する恐ろしい病気です。皆さんも糖尿病という言葉は聞いたことがあるのではないのでしょうか？「尿に糖が出ているから糖尿病？」…いや！その認識は間違っています！一から糖尿病について勉強してみましょう。		

申込番号 80	臨床工学科	千原 伸也
大学病院の臨床工学技士って何やってるの？		
大学病院は難しい症例を最先端の医療機器を用いて治療する施設ですが、実際の医療機器や扱う医療職についてはあまり知られていません。本講義では大学病院における医療機器と臨床工学技士について概説します。		
申込番号 81	臨床工学科	高橋 誠
電気とは何だろう		
磁石の間にコイルを動かすことにより、電流が発生することをファラデーの装置を用いて学習し、さらにこれらの応用として発電機やモーターが開発された歴史について説明する。電流には電子が関与し、生体の血管にはイオンが流れており、電流が流れているとみなすことができることを説明する。この電流が脳では微弱な磁界を発生し脳活動計測に利用される高度な医療機器について解説する。脳の解剖学的な時代から現代の脳機能を解明する方法について概説する。		
申込番号 82	臨床工学科	瀧本 将人
「がん細胞」はどのように生まれる？		
「がん細胞」はどのように生まれるのか。ミクロな視点から医師が分かりやすく概説します。		
申込番号 83	臨床工学科	竹内 文也
理系男子がホームヘルパーしてみました。		
工学系大学教員(50代)がホームヘルパーに挑戦した体験談です。研修を受けて「ヘルパー」の資格を取り、リアルな在宅介護を行いました。それを通して実感した、資格をとるための「研修」と大学の「授業」の違いや、在宅介護の理想と現実のズレ、理系男子だからできそうな生活支援についてお話しします。身体介護の手技といった介護技術の話はありません。		
申込番号 84	臨床工学科	工藤 元嗣
新型コロナウイルス感染症の治療 -最前線-		
肺の構造や機能から、呼吸器感染症の原因、症状、治療法について幅広く解説します。特に重症化した場合、救命に必要不可欠な人工呼吸器やECMO(エクモ)についても易しく学べる内容としております。		
申込番号 85	臨床工学科	加川 宗芳
いろいろなセンサーを使ってみよう		
生体情報を取得するために、種々のセンサーが活用されています。体温計やパルスオキシメータなどの医療機器がどういうしくみで働いているのかを解説します。		

申込番号 86	臨床工学科	斉藤 徳
目の前で急に人が倒れた時に何をするの？		
BLS(一次救命処置)について BLSとは、心臓が停止した人や呼吸が停止した人に対して、その場に居合わせた人が救急隊が到着するまでの間に行う応急処置のことです。BLSは、専門的な器具や薬品などを使う必要はなく、胸骨圧迫や人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)などの正しい知識と適切な処置を行うことで救命率の向上が期待できます。身近な人を助けるBLSについて学んでみませんか。		

申込番号 87	臨床工学科	齊藤 高志
AED(自動体外式除細動器)ってどんな機械？		
AEDとはどのような時に使われるのでしょうか。また、駅やショッピングモール、学校に設置されているAEDが正しく動いている事をどのように確認したらよいのでしょうか。臨床現場で医療機器の管理を行う臨床工学技士が説明します。		

申込番号 88	臨床工学科	高平 昂
田舎の臨床工学技士、都会の臨床工学技士		
海と山に囲まれた千葉県鴨川市と日本5大都市に数えられる北海道札幌市という性格の違う2つの町で、臨床工学技士として生活した際の体験談を臨床工学技士の業務を交えてお話します。		

申込番号 89	臨床工学科	高平 昂
エクモってなんですか？		
2019年に発見されて以降、世界的な感染拡大を引き起こし、注目された新型コロナウイルス感染症(通称:COVID-19)。感染者は、肺炎を引き起こし、重症であれば呼吸困難に陥ってしまいます。酸素マスクや人工呼吸器による呼吸のサポートが治療の基本となりますが、それでも全身の酸素化が追いつかない場合は、ECMOが必要となります。このことから、マスメディアではCOVID-19治療の「最後の砦」や「最後の切り札」と表現されることがしばしばあります。本講義では、ECMOの基本的なシステムを初め、病院ではどのように使用されているのかを紹介します。		

申込番号 90

医療DXマネジメント学科

笹森 大輔

医療DX入門:AIとデジタルがつくる新しい医療のカタチ

医療現場では、デジタル技術とAIの導入が進み、医師や看護師の仕事が大きく変わっています。たとえば、AIが画像診断をサポートしたり、カルテ作成を自動化したりすることで、業務が効率化され、患者と向き合う時間が増えます。また、生成AIは医療文書や説明資料を短時間で作成し、チームの負担を減らします。この授業では、実際の活用例や将来の医療の姿をわかりやすく紹介し、デジタル時代に求められる医療人の新しい役割について一緒に考えます。

申込番号 91	共生社会デザイン学科	今西 良輔
「心理学の入門」		
心理学は「心」を扱う学問ですが、その方法は単なる感覚や直感ではなく、科学的な実験や調査に基づいています。本講義では、心理学の主要な領域(発達、認知、社会、臨床など)を説明し、私たちが普段感じる「なぜ人はこう考えるのか」「なぜ行動してしまうのか」という問いに、心理学がどのように答えてきたのかを解説します。		
申込番号 92	共生社会デザイン学科	今村 良輔
「心のクセと上手に付き合う心理学～習慣づけとSNS～」		
私たちの「心のクセ」は、毎日の行動や気分に大きな影響を与えています。勉強や運動の習慣が続かない一方で、SNSは自然と続けられるのはなぜでしょう。本講義では、心理学の認知行動の視点から「習慣ができる仕組み」と「SNSが心に与える影響」などを学びます。自分の行動や考え方を見直し、どのようにこれから生活をするか考えてみましょう。		

UJMS



詳細は大学ホームページをご覧ください。
お申し込み方法はQRコードからもご覧いただけます。



◇お問い合わせ先◇

日本医療大学 募集グループ

【電話】011-351-6111

【住所】札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号